





審査結果報告書

2020年2月4日

主査 氏名 武田 啓 

副査 氏名 青山直善 

副査 氏名 田中 潔 

副査 氏名 奥富 俊之 

1. 申請者氏名 : DM14015 津留 世里

2. 論文テーマ :
RAMP1 signaling in immune cells regulates inflammation-associated lymphangiogenesis
(免疫細胞における RAMP1 シグナルの腹膜炎時リンパ管新生制御に果たす役割について)

3. 論文審査結果 :

本研究は腹膜炎において CGRP が免疫細胞の RAMP1 受容体に作用して横隔膜リンパ管新生を促進し炎症調節に関与していることを明らかにした報告である。RAMP1 遺伝子を欠損させることによりリンパ管新生が抑制されたことから、RAMP1 シグナルがリンパ管新生を促進し、腹水ドレナージ機能を増強することを示した。これらの知見から RAMP1 シグナルに対するアゴニストが腹膜炎を有する患者の新たな治療につながる可能性があると考えた。悪性腫瘍術後などに続発するリンパ浮腫や炎症性腹水貯留に対する新たな治療戦略につながる研究であり、臨床的意義も高い。論文および発表は論理的で分かりやすく、審査員の質問にも最新の研究動向を踏まえながら的確に回答を行っていた。

博士論文としてふさわしく十分に価値のあるものと審査員全員一致で判定した。